



町内会活動のヒントはあなたのそばに

各地区の活動事例や工夫を互いに知ることを中心に、2月19日(日)にたがさぽで行った「あつまれ! 地区の知恵袋~町内会・自治会の情報交換会」。町内会・自治会役員のみなさんを中心に52名が参加しました。

前半は4地区からの事例紹介、後半は小グループに分かれて工夫や課題を出しあいました。他地区のことを聞く機会はこれまであまりなかったそうで、

出てきたお話に共感したり質問が出たりして時間が足りないほど。「うちもそれで困っているんだ」「今回の話を参考に、自分の地区でもアレンジして取り組みたい」といった感想も出るなど、今後につながる会になりました。

たがさぽPressもご覧ください!

「あつまれ! 地区の知恵袋~町内会・自治会の情報交換会」

2017年2月27日(月) 掲載

事例紹介



佐藤 亨 会長
(高橋東二区町内会)

「顔の見える町内会」を目指し、地区内のできごとや情報を積極的に発信しています。



佐藤 司 会長
(福田町内会)

230号を迎える会報「すみだ」や地区で開催している文化祭についてお話いただきました。

住民の参加を促す取り組み。工夫

テーマ①



柴田 十一夫 会長
(志引町内会)

災害時及び日常の高齢者の見守り活動や、中学生と一緒に夜間パトロールのお話も。



西亨 会長
(栗田中南自治会)

マンションのみで構成された自治会。防災見守りカードを、災害時の安否確認に役立てています。

地域の見守り活動

テーマ②

情報交換



後半の情報交換ではそれぞれの取り組み紹介から、「町内会の活動に参加する人を増やすには」など、各地区共通の話題について意見や考えを出しあいました。

グループ発表



最後は各グループからの発表。住民交流や町内会活動への参加に関しては「もっと男性に参加してほしい」「気づくといつも同じ顔ぶれ…」など、共通の悩みがあることもわかりました。



ヒント from “たがさぽPress”

たがさぽのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ <http://blog.canpan.info/tagasapo/>

●「伝わる」チラシをつくるには? 2017年2月14日(火) 掲載
チラシをつくる時、どうしても「見た目」から入りがちですが、「いつ、どこで、誰に、何を、どうするか」など伝えたいことの整理が重要です。

●誰もが電話を使える社会に 2017年2月16日(木) 掲載
聴覚障がいのある方が他者に伝えたいことを、通訳オペレーターが代わりに電話をかけて連絡をする「電話リレーサービス」についてご紹介。

●地域の名産で楽しくまちおこし活動を! 2017年3月9日(木) 掲載
B級グルメ「富士宮やきそば」。誕生のきっかけは、市街地活性化について市民有志のみなさんが検討した時に、やきそば店の多さに気づいたことでした。

“たがさぽPress”とは?

たがさぽスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぽPressへ! *ケータイ、スマホからご覧いただけます。



たがさぽからのお知らせ

たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

「たがさぽ」は地域情報の宝庫!

たがさぽには、NPO、町内会、サークルなどの情報が集まっています。「多賀城に引っ越してきたのだけど、何かおもしろそうなイベントや活動はないかな?」「町内会や子ども会の役員をすることになったので、他の取り組みを参考にしたい」そんな方に役立つ情報をそろえていますので、ぜひたがさぽに足を運んでみてください。



★ イベントや団体の情報が詰まっているチラシラック。
★ たがさぽに入っただけで右側にあります。

チェック!

企業の
CSR活動
を知る

「感謝の気持ちで多賀城のために」

多賀城市に本社工場を有し、わかめをはじめとする海藻関連製品の研究・開発・製造などを行っている理研食品株式会社。昨年より力を入れはじめた地域貢献活動について、担当の芳賀順さんにお話をお聞きしました。

Q. 地域貢献活動に力を入れはじめたきっかけを教えてください。

東日本大震災では多賀城本社工場をはじめ、仙台・大船渡の工場も大きな被害を受けました。再建に向けて多方面からの支援をいただいて復旧を果たした昨年を「復興元年」とし、支援への恩返しの気持ちを込めて会社全体で地域への貢献活動をはじめました。

Q. 具体的に、どのような活動に取り組んでいますか。

古代米を使ったグルメブランド「しろのむらさき」に関連して、商品の構想段階から販売までご協力しております。「たがじょう市民市」など市内外のイベントにも出店して試食販売も行い、多賀城や「しろのむらさき」の認知度を上げ、多くの人に興味を持ってもらいたいと考え活動しています。

またこのつながりから、毎年3月11日に行われている「多賀城・万灯会～鎮魂の灯～」のことを知りました。主催の「NPOゲートシティ多賀城」さんからお声がけいただき、お手伝いできることがあればと思い昨年からは協賛しています。今年は、ご来場いただいたみなさんへのお振舞い用にわかめスープを提供しました。

Q. 食育にも力を入れているとお聞きしましたが。

現在、多賀城市内の小学校と近隣市町の小学校で、会社認定の講師による体験型の授業を行っています。会社の看板商品であるわかめの生態や、加工に活用されているさまざまな科学や技術について知ってもらうことで、わかめを通じて科学に興味を持ってほしいと思っています。

また昨年の4月には、多賀城市子育てサポートセンターのリニューアル後をはじめでの事業にお呼びいただき、未就学児の親子を対象とした料理教室でわかめご飯のおにぎりとお味噌汁を作りました。その他、多賀城工場地帯連絡協議会が主体になって開催している「サイエンスデイ」にも参加しています。

芳賀さんは、「今後ともこれまでの恩返しができるように、会社として多賀城への貢献を考えていきたい」と話しています。食育を含めて、子どもたちに多様な学びの機会を提供したい方はぜひ参考にしてみてはいかがでしょうか。



芳賀順さん。約半年間の研修を受けて、この4月に会社で4人目の「わかめ学習認定講師」になりました。



昨年7月に行われた多賀城市主催の減災見学会にて、本物のわかめを使って、実験をしながらの体験型授業と工場見学を行いました。



「サイエンスデイ」の様子。わかめのヌルヌルには取り過ぎた塩分やコレステロールを排出する役割があることを、スライムを使って学んでいます。(写真提供：多賀城工場地帯連絡協議会)

用語解説



「Corporate Social Responsibility」の略で、日本語では「企業の社会的責任」のこと。企業が社会の一員として社会のルールを守り、社会の持続的発展に貢献しながら、企業活動を続けていくことを指します。

理研食品株式会社 / 本社工場所在地：多賀城市宮内2-5-60 / 電話：022-365-6446 (代表)



「tag」には、多賀城 (tagajo) の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ (価値) をつける、という意味が込められています。



「たがさぼ」ではツイッターもやります。フォローお願いします!
@tagasapo



「たがさぼ」ホームページはこちら
<http://www.tagasapo.org/>